



# 鴻巣西中通信

学校だより No.5

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」

公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

鴻巣市立鴻巣西中学校

鴻巣市大間1161番地

令和7年8月29日

## 暑さを超える熱い姿勢

校長 三杉 紀文

今年の8月も全国各地で最高気温の記録が更新されるなど、猛暑、酷暑…表現できないほどの暑い日々でした。間もなく9月を迎えるところですが、まだまだ残暑がしばらくは続きそうです。引き続き熱中症には十分な注意が必要です。

さて、夏季休業日を挟んで約2か月が経ちますが、前号でお伝えできなかった6月末から7月頭にかけての学校総合北足立北部班大会についてです。気温は相当高くなっていましたが、そんな中、私が見て回った範囲の中だけでも、勝敗を超えて気持ちの温度も高くなる場面がいくつもあり、1学期の終業式で生徒たちにも話しました。

たとえば男子バスケ部。準々決勝の後半、途中10点差で勝っていたのですが、終盤に相手の反撃にあい、残り1分で1ゴール差まで詰め寄せられます。あせったり、弱気になったりする可能性もある場面でしたが、その1ゴール差を守り切るのではなく、逆にそこから点を取って点差を広げた姿勢に気持ちの強さを感じました。サッカー部は、後半終了間際まで0-1でリードされていましたが、アディショナルタイムに劇的同点ゴールをあげ、PK戦の末に勝利。最後まであきらめなかったからこそその勝利でした。野球部も前半に4点取られて0-4とリードされますが、そこから後半は1点も与えず逆に3点を取って1点差まで詰め寄る大激戦となりました。これもリードされても気持ちが落ちることなく攻め続けたからこそだと思います。女子バスケ部は、前半は相手にスチールからの速攻でリードを許しましたが、後半はリバウンドを頑張り、ゴール下のシュートで得点を稼いで互角以上の戦いだったと思います。試合終了後、相手チームへの挨拶が終わるまで、涙を我慢した3年生の3人、やり切っていて見事でした。また、運動部の大会とは別に、7月30日には吹奏楽部のコンクールがありました。当日の朝、出発する生徒たちの最後尾を3年生が務め、しきりに大きな声で部員たちに忘れ物がないかなどの呼びかけをしている姿が主体的で頼もしく感じられました。

私は大会直前の壮行会で、生徒たちに「相手に勝った負けたの前に、ぜひ自分に負けない、自分たちの力を『出し切る』試合を目指して欲しい。」と話しました。ですからコートの中に入っていないくとも、記録や応援、コート内の選手のサポートなど、自分の仕事をやり切っていた、出し切っていた生徒たちもすばらしいです。

また、出し切った先に、今夏は陸上男子800mで全国大会出場という快挙もあり、西中生の力は底知れません。

